

教育実践専門職高度化専攻
教科領域指導プログラム
養護教育サブプログラム

大学院説明会 資料

養護教育サブプログラムの概要

児童生徒，教職員および学校の健康，安全に関わる諸問題を把握し，分析するための基礎理論を学ぶとともに，これらの課題解決を図るために必要なスキルを身に付けます。さらに学校内外との連携を進め，学校保健活動でリーダーシップをとることのできる高度な資質・能力をもつ養護教諭の育成を目指します。

養護教育サブプログラムの教員と専門領域

竹鼻 ゆかり 養護教育学／養護教諭の専門性を高めるための力量形成に関する研究

荒川 雅子 養護教育学、養護実践学／養護教諭の専門職としての成長に関する研究

鈴木 琴子 地域保健(看護)学、母子保健学／母子保健、子育て支援等に関する研究

なお大学院に入学すると、上記の教員から指導教員を決めることになります。

養護教育サブプログラムで開講している授業

プログラム科目(必修科目) 各2単位	履修学期
養護教育の内容と実践	1年春
養護教育の実践演習Ⅰ	1年秋
養護教育の実践演習Ⅱ	2年春
高度選択科目 各2単位	履修学期
学校保健の内容構成開発と実践A	1年秋
学校保健の内容構成開発と実践B	2年春
学校保健の高度研究開発法	1年秋

高度選択科目は10単位以上習得する必要があります。

養護教育SPの単位合計は6単位なので、不足分は他のプログラム、サブプログラムで選択することになります。

養護教育サブプログラムの教職専門実習

学卒院生：

「通年型」の実習です。1年次9月に10日間、10月～12月は週1（火曜日）×10週で行います。2年次は4月～7月に週1（火曜日）×10週で行い、9月に6日間行います。

現職院生：

教職経験5年以上で実習10単位から8単位が免除された場合、現任校や他校の視察、教育センターの訪問、学会参加などが単位の対象となります

養護教育サブプログラムの2年間 (学卒院生を想定)

1年次

入学するとすぐに指導教員を決定し、教職基礎科目(6単位)、プログラム科目(養護教育の内容と実践)の他、他プログラム等の科目を必要に応じて受講します。また秋からの教職専門実習校へ訪問し、打ち合わせをします。なお教員採用試験未合格者はできるだけ1年次にも受験してください。秋学期からは教職専門実習を行うとともに、教職基礎科目(4単位)、プログラム科目、高度選択科目を受講します。また課題研究をスタートさせます。

2年次

引き続き、教職専門実習を行い、課題研究を進めます。教員採用試験未合格者は受験の準備をします。教職専門実習終了後は課題研究の完成を目指します。なお同時に専門学術論文を作成することもできますが、教職大学院の修了要件ではありません。(専門学術論文は学位論文ではありません)

養護教育サブプログラムの現在

2025年度現在，2年次3名，1年次3名が在籍しています（学卒院生：2名，現職院生：4名）。

なお，養護教育SPの学卒院生は，他SPと同様に教員採用試験教職大学院推薦の対象とすることができます。